

2025年

かわむら小児科

公式 LINE



モ～モ～くらぶ



## 百日咳について

全国的に今年は百日咳が流行っており、当院でも3月から増えてきました。現在小学高学年から中学生が多いです。百日咳は、年長児や大人がかからず、発熱はなく咳が続く、夜に咳がひどいなどの症状が多いのですが、百日咳のワクチンをまだ受けていない生後2か月以内の子などがかかると重症化し、スタッカートという激しい咳込み、ウーピングという息の吸い込みなどの症状が出て、呼吸が止まって死に至る場合もあります。百日咳のワクチンには3種混合ワクチン(DPT:ジフテリア、破傷風も含む)、4種混合ワクチン(DPT+ポリオ)、5種混合ワクチン(4種+ヒブ)とありますが、いずれも定期接種だと1歳ぐらいで終わってしまうので、5年ぐらいで免疫が切れてしまつて小学生になるとかかってしまいます。そのため、日本小児科学会では3種混合ワクチンを、就学前と、11歳から12歳の2種混合ワクチンの代わりに接種することを勧めています。

診断には遺伝子検査が正確で当院ではLAMP法と呼ばれる遺伝子検査を外注で出して診断しています。検査会社は月、水、金曜日に検査しているそうで、検査を出して2,3日結果が出るのにかかります。

治療には通常はマクロライド系の抗菌薬を使うのですが、今年の百日咳にはこれが効かないのが約8割と言われており、その代わりに第二選択としてST合剤を使ったりします。

予防には、生後2か月になったら5種混合の予防接種をすぐに受けすることが大切です。新生児を守るために妊婦さんに3種混合ワクチンを接種することも検討されています。

## ……感染症情報(5月1日現在)……

- ★ノロウイルス、ロタウイルス(小学生以上)による胃腸炎がまだ流行っています
- ★溶連菌、RSウイルスも少しずつ見られます。
- ★インフルエンザB型、コロナも時々見られます。

## かんしゃく

気に入らないことがあると、ひっくり返って大声で泣き喚く。いったんつむじを曲げるとなかなかおさまらないかんしゃくは、自己主張発達成長の段階の一つで、程度の差こそあれどんな子にも見られるものです。

### 【子どもがかんしゃくを起こす時】

- ・何かうまくいかずイライラしている時
- ・自分の感情がコントロールできず自分でもわからないまま爆発する

### 【対処法】

- ・「一緒にやろうか？」と言ってできない部分を手助けする。
- ・子どもの気持ちを言葉で表現してあげる
- ・「大丈夫よ」と言い落ち着くまでそばにいる

親も一緒にになってイライラと大声をあげたり怒ったりするのは逆効果です。なかなか難しいことですが親が静かに対応すると子どもも落ち着いていくものです。「この時期の子どもはこんなもの」と割り切つて子どもの成長をみまもりたいですね。

(ゆっけ)

## もぐらバス

文・絵:うちのますみ  
原案:佐藤正彦



もぐらバスの運賃は

1回1円です。地面の下にぐねぐね延びる小さなトンネルを行ったり来たりしています。

地下にトンネルがあるなんて、そもそもぐらバスではどんなことが起こるのか、と想像するだけで楽しくなる絵本です。(ピノ)

**5月10日(土) 休診**

日本保育保健学会出席のため